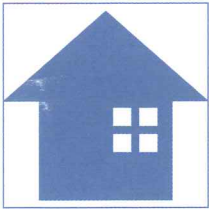


防災まちづくり 少しずつ動き出しました

平成20年度より、防災まちづくり計画の実現に向け、4つのグループ（いえ、みち、まち、ぼうさい）に分かれ、活動を開始しました。

各グループの昨年度の活動状況をお知らせします。

～平成20年度の活動報告～



【いえグループ】

耐震診断・耐震改修の普及啓発のため、「耐震・我が家の危険度チェック&AED講習会」や「我が家の耐震診断相談会」を実施しました。講習会では、西消防の職員の方による、家の中での安全対策の話や最近いろいろなところで見かけるAEDの使用方法について勉強しました。また、相談会では、専門の講師の方から耐震診断のやり方や改修の方法・効果などについて話を聞くことができました。

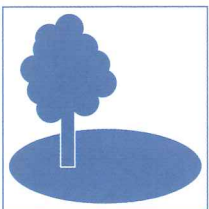


【みちグループ】

まち歩きを行い、行き止まり箇所や道路幅員が狭く緊急車両の通行が困難なところをチェックしました。

行き止まり箇所については、3カ所で周辺権利者の方々との話し合いにより、緊急時には個人の庭先を避難路として活用することを了承いただきました。

また、坂の愛称を募集し、3月の防災イベントにて決定しました。



【まちグループ】

まち歩きを行い、まちの中の緑や公園の様子などを調べました。特に池ノ上公園の利用方法や防災設備の拡充などについて意見交換を行いました。東久保町唯一の公園であり、災害時には地域にとって重要な拠点として利用されることが予想できます。防災まちづくり計画のなかでも、地域の防災「準」拠点として設備等を拡充させることを目指しています。



【ぼうさいグループ】

東久保町版防災マップの作成を目指し、3町内ごとに細かくまち歩きを行いました。貯水槽や消火栓の位置、ホース格納庫や消火器の位置などを調査しました。また災害時に一時避難できる場所の候補地なども調査しました。今後土地を所有されている方などに災害時の一時利用などについて承諾をいただければ、それらの情報をマップに掲載し、東久保町にお住まいの皆様が有効活用できるものとしてまとめていきます。

今年度の取り組み“2つ”の柱

1柱:4つのグループ活動

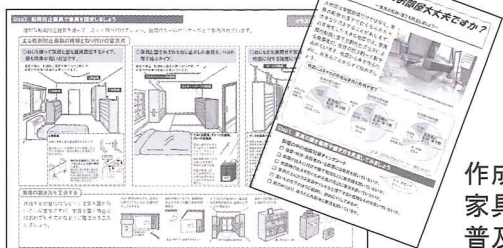
平成20年度から、4つのグループに分かれ、それぞれの目標に向かって活動をしてきました。今年度も昨年度の活動を継続させ、目標実現に向けて取り組んでいきます。



いえグループ
メンバー：14名

今年度は、家に関する安全・安心を皆さんに知っていただくため、「家具の転倒防止」「耐震診断・耐震改修」「建て替え」の3つをテーマにしたチラシを作成し、地区内の方々への配布を予定しています。

また、昨年同様に、耐震などに関する講習会や相談会を継続させ、地区内の皆さんに興味を持っていただけるよう取り組んでいこうと考えています。



作成中の家具転倒防止普及チラシ



みちグループ
メンバー：14名

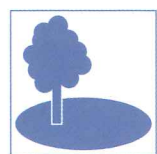
池ノ上公園から大谷公園までの坂の両側をグリーンに舗装し、子供たちが安全に歩けるよう取り組みました。引き続き、通学などでの利用が多い区間を対象にグリーン舗装の実現に向け、取り組んでいきます。

その他、坂道や階段道で一休みできるような休憩スペース設置に向け取り組んでいきます。

また、昨年度坂の愛称を募集し、決定しました。今年度は、決定した坂の愛称の看板設置などを関係機関に働きかけていく予定です。



池ノ上坂のグリーン舗装



まちグループ
メンバー：17名

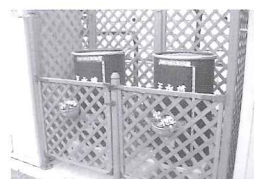
地域の防災「準」拠点として位置づけている池ノ上公園に、防災設備として「かまどベンチ」「雨水利用施設」を設置するため、横浜市や西区と協議しています。

かまどベンチ：通常はベンチとして利用しますが、災害時には、上部を取り外し、炊き出し用のかまどとして利用できます。

雨水利用施設：雨水をタンクにためておき、災害時の初期消火や生活用水として利用することができます。



かまどベンチの設置例



雨水利用施設の設置例



ぼうさいグループ
メンバー：15名

防災マップのとりまとめに向け、協議を進めています。

今年度中には、町内全戸に配布を予定しています。

今後、マップの中に掲載する内容によっては、関係する権利者の方々との調整が必要な場面も出てくると思います。地域にとって、有効なマップとしてまとめていくためにも、関係者の皆様のご理解・ご協力、お願いいたします。



作成中の防災マップ

2柱:2つの実行隊チーム

昨年度は4つのグループに分かれて活動してきましたが、具体的なプロジェクトの中には、グループをまたいだ取り組みが必要なものもあり、それらについては、実行隊（プロジェクトチーム）を編成し、防災まちづくりに向け取り組んでいきます。

地区計画 実行隊

地区計画実行隊では、地区計画導入の可能性について検討していきます。

地区計画とは？

地域の特性を生かした、地域独自のまちづくりのルールです。

地域の合意を得た上で、都市計画として定められます。

今年度の目標は？

まちの将来像を決めて、それにあわせて、建物の建て方のルールや道路・公園の整備などについて、たたき台としてまとめていきたいと考えています。

どんなことを決められるの？

- 建物・工作物の建て方
 - ・建物の用途
 - ・建物の規模（建ぺい率、容積率）
 - ・建物の高さ
 - ・道路や敷地境界からの外壁の後退距離
 - ・敷地の面積
 - ・建築物や工作物の形態意匠
 - ・塀の種類など
 - ・緑に関すること（緑化率、緑地の保全）
- 道路・公園などの施設



市ホームページより

9月（第2回）地区計画検討会開催のお知らせ

現在、東久保町まちづくり協議会のメンバー6名をコアメンバーとして検討会をスタートさせました。東久保町全体のルールまちづくりを考えていくため、たくさんの方々と一緒に東久保町地区のまちづくりルールの内容を検討して必要があります。

東久保町の防災まちづくりに興味のある方でしたらどなたでも参加できます。参加ご希望の方は、9月（第2回）検討会へ直接お越しください。ご参加お待ちしております。

日時：9月16日（水）
午後7時～9時

場所：東久保町会館

事業費助成 実行隊

横浜市の事業費助成制度を活用し、池ノ上公園に防災設備を設置する予定です。

事業費助成制度は、防災まちづくり計画に位置づけられた事業を実施していくための制度で、原則1割が地元負担、9割が市からの補助金となります。これまで、協議会がまちづくり基金として積み立ててきた夢やさい販売の売り上げ金の一部で地元負担分をまかなう予定です。



第5回 東久保町夢まちづくり協議会 総会が開催されました



平成21年5月24日（日）東久保町夢まちづくり協議会の総会が行われました。

具体的なまちづくり活動がスタートして1年経過しての総会では、1年間の反省点や今後の目標などが協議されました。

また、新しく協議会のメンバーに加わっていただいた方もおり、新たな気持ちで2年目のスタートを切ることができました。

今後も、協議会委員はじめ地域の皆様のご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

東久保町 トピックス

今年も盛大に、東久保町の夏祭りが開催されました。残念ながら、天候により子供御輿と山車は中止となりましたが、女御輿と缶御輿が並んで東久保町を回りました。



東久保町夏祭り 2009



問い合わせ先

- 東久保町夢まちづくり協議会
〒220-0062 横浜市西区東久保町8-12 ☎045-241-7914（会長 和田）
- 横浜市都市整備局都市づくり部地域まちづくり課
〒231-0017 横浜市中区港町1-1 ☎045-671-2691（山口、東）
- 横浜市西区役所区政推進課企画調整係
〒220-0051 横浜市西区中央1-5-10 ☎045-320-8328（勝俣、藤浪）

※東久保町防災まちづくり計画の内容については、市ホームページよりご確認ください。

<http://www.city.yokohama.jp/me/toshi/chiikimachi/katsuyou/pl-nintei/p08001-plan.pdf>